

岡山大学 自然生命科学研究支援センター 分析計測分野
ペプチドシーケンサー測定依頼書 (学内用)

下記試料の分析を岡山大学自然生命科学研究支援センター分析計測分野へ依頼します。

申込日* 年 月 日

依頼者*		依頼者 TEL*			
所属*		依頼者 E-mail*			
支払責任者*		(印)	支払経費* <input type="checkbox"/> 運営費 ・ <input type="checkbox"/> 寄付金 ・ <input type="checkbox"/> 科研費(4-12月)		
試料 番号	試料名 (ファイル名) * 15 文字以内	推定量 (pmole)	測定希望 残基数*	推定配列 1 字表記 (別紙添付可)	コメント
1					
2					
3					
試料状態* (該当を■に) : <input type="checkbox"/> 溶液試料 (蛋白質濃度と溶媒組成を連絡欄に記入すること。毎回必須) <input type="checkbox"/> PVDF 膜へ溶液をブロットした。(ブロット後, Milli-Q 水などで、きょう雑物質を良く洗浄した。) <input type="checkbox"/> SDS-PAGE から PVDF 膜へ電気転写 <input type="checkbox"/> PVDF 膜染色法 : (CBB よりもアミドブラックを推奨)					
重要確認事項* : 試料中のアミン (アンモニウム塩、トリス等)、塩類、SDS について。 <input type="checkbox"/> 含まれていない (完全に洗浄除去した) <input type="checkbox"/> 試料に 含有。					
測定結果の様式と引き渡し : <input type="checkbox"/> 決定配列のみ <input type="checkbox"/> クロマトパターン添付 <input type="checkbox"/> 支払い責任者宛に学内便で送付 <input type="checkbox"/> ファイルをメール送付 <input type="checkbox"/> 来訪引き渡し 解析の短縮と延長 : (6 残基以上測定希望の場合のみ) <input type="checkbox"/> ピークが低い時には、測定残基数を減らす事を希望する。 <input type="checkbox"/> まだ十分高いピークが出ている時は、測定残基数の増加を希望する。					
連絡欄 : 					
確認事項* 該当項目を■にして下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・「分析計測分野利用要項」の内容は <input type="checkbox"/> 確認済みである。 ・測定後の試料は、<input type="checkbox"/> 来訪して引き取る <input type="checkbox"/> 学内便送付 <input type="checkbox"/> 可燃物廃棄。 ・ニトロセルロース膜は反応中に溶けるので不可。必ず PVDF 膜を使用して下さい。 					

太枠内を依頼者をご記入下さい。 *印の項目は、必ずご記入下さい。

分析計測分野記入欄 :

受付 No. _____

測定者		測定日時	平成 年 月 日, 日, 日
測定残基数	#1 : 残基、#2 : 残基、#3 : 残基	測定結果 :	
		結果等引渡日 :	
利用料金 請求額	<input type="checkbox"/> 1 試料料金 (学内) : 3,000 円 (基本料金) + 1,200 円 x 残基数,		
	追加消耗品等 :	円,	合計請求額 : 円
特記事項			